

兵庫県立国際高等学校 Can-do list 2014年4月版

	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーション/態度	思考力・判断力	言語文化観
F	<p>内容:社会性の高い幅広い内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で放送されているテレビやラジオの政治・経済的なニュースや、映画、講演</li> </ul> <p>英語:母語話者の自然な速度</p> <p>英語学習者への配慮なし</p> <p>理解:特別な努力なしで詳細を理解できる。</p>	<p>内容:社会性の高い幅広い内容</p> <p>論理性:いくつかの視点を示して、明瞭な構成で論理的に、かなり詳細に自分の意見を述べられる</p> <p>やりとり:言葉をことさら探さずに自然に自己表現ができる。即興でも十分に議論できる。</p>	<p>内容:社会性の高い幅広い内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の英字新聞や雑誌の社会的、経済的、文化的な記事。文学作品、報告書等</li> </ul> <p>理解:辞書を使わずに難なく理解し、楽しむことができる。書き手の微妙な意図が理解できる。必要な情報を的確に得られる</p>	<p>内容:社会性の高い幅広い内容</p> <p>論理性:複数の視点を示し、明瞭な構成で論理的に詳細に意見を述べ、説得できる</p> <p>表現:文章作成のテクニックや接続表現などを効果的に使える。辞書を使わずに、短時間でまとまりのある文章を書ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本または世界のニュースが海外でどのように報道されているのかを知るために、英語で書かれた記事もチェックすることができる。</li> <li>・調べものをする際、英語で書かれた記事やデータにも目を通すことができる。</li> <li>・ニュースや講演などは、理解できないところがあっても、意味を推測するなどして聞き続けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的で一貫性のある主張ができる</li> <li>・課題を多角的な視点から捉えることができる。</li> <li>・情報や情報源をうのみするのではなく、それらに対して、批判的に深く考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのアイデンティティや尊厳を大切にしつつ、英語を媒介としてコミュニケーションできる。</li> <li>・欧米・アジア諸国に対するステレオタイプイメージを持たず、各個人の個性を尊重できる。</li> <li>・ネイティブスピーカーが話す英語を模倣することに捉われず、自分なりにコミュニケーションできる。</li> </ul>
E	<p>内容:教科書やテレビで見たことのある、なじみのある社会問題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で放送されているテレビやラジオのニュース番組や母語話者同士の会話</li> </ul> <p>英語:自然な速さで標準的な発音の英語</p> <p>理解:話の大筋・要点を把握することができる。</p>	<p>内容:教科書やテレビで見たことのある、なじみのある社会問題等</p> <p>論理性:いくつかの視点から、理由を挙げて、自分の意見を論理的に述べられる</p> <p>やりとり:ニュースの要点について議論できる。プレゼンテーションを行うことができ、一連の質問にも対応できる。母語話者ともリラックスして、自然にやり取りできる。</p>	<p>内容:教科書やテレビで見たことのある、なじみのある社会問題等(英検1級~準1級レベルの長文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の英字新聞やインターネットの英語サイト等で社会的な出来事扱った文章</li> </ul> <p>理解:辞書を使わずに読み、内容をほぼ理解できる。新聞・評論文・小説など、英文の種類や読む目的に応じて、適切に読みこなすことができる。</p>	<p>内容:教科書やテレビで見たことのある、なじみのある社会問題等</p> <p>論理性:意見の共通点、相違点を整理し、それに対する自分の考えを、根拠を示しながら複数の段落で論理的に書ける。</p> <p>表現:幅広い語彙や複雑な文構造をある程度使って、辞書をほとんど使わずに書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えることができる。</li> <li>・授業中にわからないことがあれば、直接ALTに質問することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリット、デメリットの両方を検討した上で、自分の意見をまとめることができる。</li> <li>・様々な情報を検討し、問題に対する自分なりの解決策を考えることができる。</li> <li>・発表されたものを聞いて、自分の意見との類似点、相違点を意識しながら、質問したり、意見を述べたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域毎に様々な英語表現があるという認識があり、その違いを楽しむことができる。</li> <li>・様々な国で英語が公用語として話されており、民族、国家、宗教等によって、人々のものの見方や考え方などに違いがあることについて理解することができる。</li> <li>・英語を学ぶことが目的ではなく、英語はコミュニケーションの手段であるという認識を持てる。</li> </ul>
D	<p>内容:関心のある社会問題や長めの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者向けの身近なトピックのニュース</li> </ul> <p>英語:自然な速さだが、はっきりとなじみのある発音</p> <p>理解:大部分を聞きとり、要点を理解できる。日常会話ならだいたい理解できる。</p>	<p>内容:興味・関心のある社会問題など</p> <p>論理性:効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に話せる</p> <p>やりとり:新たな質問を思いつくなどして話題を進展させ、ある程度会話を続けられる。英語でスピーチを行い、聴衆からの質問に答えられる。</p>	<p>内容:社会的な話題や物語(英検準1級~2級レベルの長文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の英字新聞。英語学習者向けに平易な英語で書かれた長めの物語</li> </ul> <p>理解:必要に応じて辞書を使えば、話の筋を理解することができる。文章の構成を意識しながら読み進め、関係ある情報を手に入れることができる。</p>	<p>内容:興味・関心のある社会問題など</p> <p>論理性:効果的な事例を取り入れながら、自分の意見を論理的に整理し、複数の段落で書ける。新聞記事等について、自分の意見を含めて基本的な内容を報告できる</p> <p>表現:必要に応じて辞書を使い、複雑でない表現・文法を用いて書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワーク等においてできるだけ英語で意見を述べたり、話し合ったりしようとする姿勢を持ち続けられる。</li> <li>・関心のあることについて相手に質問することができる。</li> <li>・授業以外でも、自ら話題を提供し、ALT等に英語で話しかけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見をサポートする具体的な事実や数値データを示すことができる。</li> <li>・文章や資料を読み、自分の知識や経験に照らし合わせて、自分なりの考えをまとめられる</li> <li>・他人の発表を、自分の意見との類似点、相違点を意識しながら聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の文化に興味を持つことができる</li> <li>・日本文化との相違点に気づくことができる</li> <li>・文化に優劣をつけるのではなく、違いを各文化の特徴として受容できる。</li> <li>・地域によって、ジェスチャー等非言語的コミュニケーション手段の役割や使い方が異なることを理解できる。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などの違いを理解できる。</li> </ul>
C	<p>内容:身近な話題、簡単な説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの説明</li> <li>・身近な話題に関する少し長めの議論</li> <li>・外国の行事や習慣などの説明</li> </ul> <p>英語:英語学習者向けに、ゆっくりはっきりとなじみのある発音で話される英語</p> <p>理解:話の概要を理解することができる。</p>	<p>内容:身近な出来事や興味のある話題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・趣味・将来の希望など</li> </ul> <p>論理性:意見や感想を、具体例を加えながら、筋道を立ててわかりやすく話せる。</p> <p>やりとり:事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手に言いたいことをある程度的確に伝えられる。簡単な日常会話は可。</p>	<p>内容:まとまりのある説明文(英検2級~準2級レベルの長文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の注や説明がついた、学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事</li> </ul> <p>理解:要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。一つの段落において、主題文と支持文を区別することができる。</p>	<p>内容:身近な出来事や興味のある話題</p> <p>論理性:意見や感想を理由を挙げて整理し、段落を意識して書くことができる。</p> <p>表現:必要に応じて辞書を使いながら、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、表現できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワーク等においてできるだけ英語で意見を述べたり、話し合ったりしようとする姿勢を持ち続けられる。</li> <li>・関心のあることについて相手に質問することができる。</li> <li>・授業以外でも、自ら話題を提供し、ALT等に英語で話しかけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見をサポートする具体的な事実や数値データを示すことができる。</li> <li>・文章や資料を読み、自分の知識や経験に照らし合わせて、自分なりの考えをまとめられる</li> <li>・他人の発表を、自分の意見との類似点、相違点を意識しながら聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報や考えなどを図式化するなどして、概要や要点を捉えることができる</li> <li>・物事に対して疑問を持ち、問題点や課題を見つけ出すことができる。</li> <li>・point—reason—support という文構造を意識し、意見を述べることができる。</li> </ul>
B	<p>内容:身近な話題、短い簡単な情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの指示</li> <li>・学校の宿題、旅行の日程等の明確で具体的な事実</li> <li>・駅や空港等の短い簡潔なアナウンス</li> </ul> <p>英語:英語学習者向けに、ゆっくりはっきりとなじみのある発音で話される英語</p> <p>理解:話の概要を理解することができる。</p>	<p>内容:身近な話題、短い簡単な説明</p> <p>論理性:身の回りの出来事を、自分の意見や気持ちも加えて、説明できる。</p> <p>やりとり:補助となる絵やものを用いて、基本的な情報を、簡単な英語で端的に伝えることができる。日常会話において簡単な質疑応答ができる。</p>	<p>内容:簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの説明文や短い物語等(英検準2級レベルの長文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活、趣味、スポーツ等に関するもの等</li> </ul> <p>理解:辞書を使いながら読めば、話の要点をつかむことができる。</p>	<p>内容:身近な話題、短い簡単な説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や文化の紹介などの説明や物語</li> </ul> <p>論理性:筋道を立てて端的に描写・説明ができる。</p> <p>表現:辞書を使用しながらであれば、基礎的な語彙や表現を用いて、感想や意見などを書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情豊かに話をしたり、適切に相づちを打ちながら話を聞いたりすることができる。</li> <li>・ホディングや絵、写真などを駆使して、なんとか言いたいことを相手に伝えられる</li> <li>・原稿をできるだけ読まないようにし、聞き手に語りかけることができる。</li> <li>・英語のミスあまり気にせず、英語を口にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報や考えなどを図式化するなどして、概要や要点を捉えることができる</li> <li>・物事に対して疑問を持ち、問題点や課題を見つけ出すことができる。</li> <li>・point—reason—support という文構造を意識し、意見を述べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の文化に興味を持つことができる</li> <li>・日本文化との相違点に気づくことができる</li> <li>・文化に優劣をつけるのではなく、違いを各文化の特徴として受容できる。</li> <li>・地域によって、ジェスチャー等非言語的コミュニケーション手段の役割や使い方が異なることを理解できる。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などの違いを理解できる。</li> </ul>
A	<p>内容:自分自身や自分の家族・学校・地域等の身の回りの事柄(趣味や部活動等)</p> <p>英語:英語学習者向けに、かなりゆっくりはっきりとなじみのある発音で話される英語</p> <p>理解:身近な話題に関連した句や表現を理解することができる。場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。</p>	<p>内容:趣味、部活動などのごく身近な話題</p> <p>論理性:複数の文で身近な事を説明したり、感想を述べたりすることができる。</p> <p>やりとり:事前に準備すれば、基本的な語や言い回しを使って自己紹介をしたり、経験を語ったりできる。日常のやりとりで簡単な質問に答えられる。</p>	<p>内容:簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など興味のあるトピックに関する文章や短い物語。簡単なポスターなどの日常生活で使われる非常に短い簡単な文章</p> <p>理解:イラストや写真も参考にしながら理解することができる。</p>	<p>内容:身近なトピック(好き嫌い、家族、学校生活など)。自分の経験について</p> <p>論理性:簡単な描写・説明ができる。</p> <p>表現:辞書を使用しながらであれば、ごく基礎的な語彙や表現を用いて、感想を短く書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない言葉や用法があれば、辞書を引いて自分で調べることができる。</li> <li>・英語番組、DVD、CD等、教科書以外の教材を活用して、自主学習に取り組める。</li> <li>・会話中に必要な情報が聞き取れなかった場合は、相手に質問し、確認できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報や考えなどを図式化するなどして、概要や要点を捉えることができる</li> <li>・物事に対して疑問を持ち、問題点や課題を見つけ出すことができる。</li> <li>・point—reason—support という文構造を意識し、意見を述べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の文化に興味を持つことができる</li> <li>・日本文化との相違点に気づくことができる</li> <li>・文化に優劣をつけるのではなく、違いを各文化の特徴として受容できる。</li> <li>・地域によって、ジェスチャー等非言語的コミュニケーション手段の役割や使い方が異なることを理解できる。</li> <li>・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣などの違いを理解できる。</li> </ul>